

第1回 焼津市自治基本条例を考える市民会議・アンケート回答

※順不同

平成23年11月4日実施

アンケート質問1：本日の講話の内容について

- よく理解できた 5人
- 概ね理解できた 18人
- あまり理解できなかった 1人
- まったく理解できなかった 3人 (アンケート提出27人中)

アンケート質問2：今日学んだこと・気付いたこと

- ◇この場に来るまで、全く知識がなかったが、全く知識の無い中（真白な状態）で取り組んでいくのがかえって良いと感じた
- ◇初めての顔合わせであったが、自己紹介を伺い、参加者の認識が高いことに改めて参加の意義を認識した。ファシリテーターの今井氏の話をお伺い、今後の姿がうっすらと理解できた
- ◇自治基本条例とはどんなものか理解ができた
- ◇あくまでも住民主体であること
- ◇最初は難しいことではないかと考えていたが、先生の話をお伺い、条例により明るい焼津のまちづくりにつながっていくことであると認識した
- ◇市民一体で考えていく
- ◇構成メンバーに業種別枠・出身者がいない
- ◇初めて聞くこと・見るが多かったので勉強になった
- ◇今日はこの会議の意味について学んだ。ゼロからの出発。よろしくお願いします。
- ◇「自治基本条例」は、名前ほど堅苦しくないということに気付かされた
- ◇良い考えを思った人が多いので、一緒に勉強しながら役に立てれば良いと思った
- ◇学んだこと→自治基本条例とは何か。自治基本条例の内容とはどんなものか。自治基本条例の骨組など 気付いたこと→市民や行政・議会がお互い知恵・経験などを出し合う必要性が大切なこと
- ◇いきなり条文へいかないこと。オープンスクエアも
- ◇これからは地域市民の声をもとにして、市民との対話をも重要視され、自主的・主体的な判断が求められていると思う。また、議会・行政等がどうあらねばならないか役割・責任を明確にし、協働でまちづくりを進めていかなければならないと感じた。自治基本条例に対する流れから、ポイント等にももう少し時間をかけて欲しかった。（初日は、講師の都合もあると思うが、別途研修時間を設定する）
- ◇まちづくりは楽しいこと、必要なことであるということ。「オールやいづ」
- ◇自治基本条例策定は大切なことと思った。これからのまちづくりには必要である
- ◇「自分たちのことばを見つけながら、まちづくりに多くの市民が楽しく参加できるように」ということが目的であるということ

- ◇我々の作業は、条例素材を流し込む金型を作るのではなく、条例素材という粘土細工を、我々の手だけでなくなるべく多くの市民の手で捏ね上げていくことだ
- ◇会議の進め方が理解できた
- ◇自治の基本・仕組みづくりを創り上げていく道程は、改めて大変なことだと気付いた（自分たちの言葉で）
- ◇自治基本条例を組み立てていく工程（事例）を知ることができた。委員メンバーがつくるのではなく、あくまでも市民の意見を聞くこと
- ◇全くもって素人なので「自治基本条例」が何なのかを把握できていなかったのだが、今井先生のお話でなんとなくだか理解できた。市民・委員、皆の意見を参考に、条例づくりができればと思った。まずは「話すこと」
- ◇決まったものがないということで、市民や行政の意見・思いを踏まえた内容をつくっていけるという良さ、何を盛り込んだらいいのかかわりにくい点を感じた。そして地域に合ったものでなければならないので、非常に難しい作業であると思う。ルールづくりの必要性はあるかと思うが、ルールによって動きが良くなるのか、悪くなってしまいか、ルールを使う側の姿勢が問われるのでは、と思った。
- ◇自治基本条例について、あまり基礎知識をつけなくても良いのかと感じた
- ◇焼津のゴミは紙・プラが多い、教育・福祉・子育て・防災・老人・健康など、皆いろいろなことに対して興味を持っていると思った。「自治基本条例」とは何か、よくわからないままの参加になったが、焼津とはどんなまちで、皆がどんなことに興味を持っていて、どんなことに困っていて、これからどんなまちにしたいのかということを考えていけばよいのかな、ということを学んだ。
- ◇地方分権がどのくらい進んでいるのか具体的にはわからないが、予算が縮小されている中、今後ますます協働の必要性が高まることは理解できた
- ◇今までの条例や規程の作成と違い、国や他市の雛形なしでつくることの大切さを感じた

アンケート質問3：課題だと思ったこと

- ◇「焼津市らしく」を出すこと
- ◇今日の時点ではまだ見えてこない
- ◇これまでの行政の流れの中で、自治基本条例とはどのような位置づけになるのか明確にすると考えやすいと思う
- ◇全ての市民と行政・議員との歩み寄り日常的に
- ◇多様な市民・議会・行政の出会いの場、対話の機会を具体的にどのように設定していったら良いか。平成24年度の課題（一度・一回の集まりの人数、規模、会場の在り方等）
- ◇市民会議の進め方
- ◇焼津市の観光面、集客の施策を条例に加えられるか
- ◇総合計画等のまちづくりの流れを委員に理解させないと、とんでもないものが出来そうだという、恐れと楽しみを感じた

- ◇どんなことが起きるか予想できないが、今後出てくる問題として議会人がエゴを持ち込むことが心配である（条例の改廃が起きる場合がある）
- ◇委員とのコミュニケーション作り
- ◇委員 30 名の意見だけではなく、市民の多くの意見を聞き、また、行政・議会・コミュニティ（自治会連合会）などテーマを決め、ワークショップを行う機会を設けて、幅広い意見を集め、焼津市のまちづくりの上での考えをまとめること
- ◇委員それぞれの思いをどのようにまとめていくのか
- ◇市民に広くPRするためには、情報提供をすると共に、対話の場(意見交換会)が必要だと思う
- ◇30人(0.2%)の市民会議委員で、いろいろな活動ができるのだろうか。ワールドカフェでどのくらいの人たちが集まるか（公募でさえ13人しか集まらなかったのに、関心がある人たちが30人集まるかどうか）
- ◇自治基本条例を議会と市民に理解して貰う方法をどうするか、今後の大きな課題だと考える。ワールドカフェやオープンカフェに人を集める方法は難しいが、いろいろなツールを利用して広めていきたいと考える
- ◇より多くの市民の声が反映できるように工夫すること
- ◇まず第一に自己の意識向上と学習。作業の面でいえば、市民の積極的な参加を促す方策
- ◇条例を活かすための仕組み。条例+制度設計がどこまでできるか
- ◇全く関心の無い人たちの意見を聞くのか。一人でも多くの人の意見を集めなければ、と思うが、大変なことである
- ◇どれだけ多くの市民を巻き込めるかが課題だと思う。PR活動が重要。「自治基本条例」の文字にどれだけ市民に関心をもってもらえるか疑問である。誰もがわかりやすいサブタイトルがあれば、と思う。
- ◇それぞれの専門分野があり、それらを通して条例づくりを考えているので、皆の垣根を低く、且つわかってもらえて、わかるようにしていくこと
- ◇市民・行政・議会の役割やまちづくりの基本を考えていくにあたり、それぞれの立場によってこうした役割を担ってほしいという思いがあると思うが、考えや思いの差をどうすり合わせ、良いものにしていくか。行政の立場から考えて、市民の思いに答えかねる部分も多少あると思う。市民・行政・議会それぞれと一緒に作業をうまくやっていく方法を見つけるのも難しいと思った。
- ◇条例を活かすための仕組みを考えるのは大変だと思った
- ◇市民の心に寄り添ったものができるといいと考える。「垣根を取っ払って」という言葉があったが、その為にも、私たちがやっていることが、市民の誰が見てもわかるようなものでないといけないと思った。また、今回のメンバーの中で、興味や問題と考えていることも様々。どんな課題でも解決していけるようなシステム作りが必要だと思う。
- ◇各種団体からの人と公募の人との温度差が気になり、どうバランスを取っていくのか
- ◇通常市民参加を促すには、地域の共通の課題を取り上げ、活動に結び付けていく手法が採られる。このように、問題が明確な場合は共感を得やすいと思うが、その前提がないので、その点が大変かと感じる

アンケート質問4：その他感想等

- ◇いろいろな考え方・立場の人が参加しており、まずは皆と仲良くなるのが大切だと思った。プレッシャーがかかるが楽しんでやっていきたいと思う
- ◇これからメンバーの意見を伺い、創造的な会議となっていくことを期待するとともに、積極的に参加しなければという気持ちである
- ◇質問にもあった通り、産業面の重要性を無視できないと感じた
- ◇模倣なく地域信頼のもとで取り組むこと
- ◇ついていけるか
- ◇頑張ります
- ◇各年代層の考え方が必要だと思う
- ◇構成メンバーの割合が、女性・若者に対して偏りが感じられた。早期の見直しが必須だと思う。
- ◇市職員が一緒というのは大変良いと思う
- ◇市民の目線に立った、目に見える条例づくりを目指したい
- ◇自治基本条例に対する進め方がP・C・D・Aサイクル方式と類似していると思ったが、研修会に入る前に、委員に対する事前勉強会をセッティングして頂ければ、より入りやすいような感じがした。
- ◇机がないので書きにくい。無記名の方が良いと思う
- ◇次回、いきなり大ワールドカフェでは少々不安を感じるが、ワクワクドキドキで参画したいと思う
- ◇皆で力を合わせて頑張っていきたいと思う。今井先生、事務局の皆様、本日はありがとうございました。これからもよろしくお願いします。
- ◇事業者の代表（？）が参加していない。この人たちの意見を聞くチャンスを作ることを提案したい。
- ◇今後が楽しみである
- ◇緊張しているが頑張っていきたいと思う。カツオモチーフなどのキャラクターを作ったらどうか。
- ◇わからないことばかりだが、様々な人の意見を聞ける機会でもあり、一焼津市民として、行政職員として学びながら、しっかり取り組んでいきたいと思う。よろしくお願いします
- ◇自己紹介の中に「まちづくりは楽しい」という話があった。私も「楽しい！」と思えるようになればいいと思う
- ◇具体的にどんな形で進んでいくか。条例を制定しても実効性のないものでは意味がないので、しっかり考えて市民に理解できるものを作りたいと感じた
- ◇わかりやすい情報提供をして理解してもらうことが重要だと思った